

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ikikata		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な視点を持って支援を行っていること。	専門職員を配置し、複数人の職員での支援も積極的に行っている。	ニーズや現状に合わせて、日程調整・担当者の調整を行っている。
2	保護者の方のご希望に合わせて、訪問支援を実施する場面を検討し設定していること。	日程調整を行う前に、最近の様子や保護者の方のご希望について聴取している。	継続して、細やかな聴取を行い、訪問先との調整ができるよう努める。
3	児童発達支援・放課後等デイサービスも行っており、保育所等訪問支援と併用できること。	児童発達支援・放課後等デイサービスでの様子を踏まえ、訪問先の先生方と情報共有し、支援方法を検討している。	よりよい支援ができるよう、かかわり方や環境の違いなどを含めて話し合っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご希望いただいた授業や時間帯について、支援できない場合があること。	通所支援も行っているため、訪問支援の可能時間が限られている。	観察できない時間帯については情報共有を行い、限られた時間の中でも、より一層の連携を取っていく。
2	時期によって、突発的なニーズに対応しづらいときがあること。	訪問支援のご希望が集中する時期や、時間帯が重なっていることがある。	行事など、事前に想定される事柄について、今後も継続して早期からの日程調整を行っていく。
3	訪問支援の頻度が増やせていない。	訪問支援員の人数が少ない。	支援員の配置や訪問頻度について、検討していく。